

# がるがるっ子

「あの実とりたい  
どうやってとろう  
かな・・・」

「木の棒持って  
きてみよう」

「あの葉っぱ  
色がかわったね」

「図鑑で調べて  
みようよ！」

「あの雲  
おさかな  
みたい・・・」

「どうして  
葉っぱがお  
ちるの？」

「この虫何  
だろう？」

「これみたこと  
あるよ」

## 「がるがるっ子」 とは・・・？

おもしろがる・不思議がる・試してみたがる・知りたがる・聞きたがる… など 意欲を持って行動できる子どものことです。

子どもたちの「つぶやき」や「あそび」をちょっと意識してみると様々な場面で『〇〇がる』姿が見えてきます。

毎月開かれる園内研修会で子どもたちの〇〇がる姿を事例にし、全保育士で共有したり、グループに分かれて検討して、保育士の資質向上を目指しています。また、各園にがるがるっ子育成委員を配置し、集まった事例を代表者の集まる委員会で共有したり、今後の取り組みについて検討をしています。

四季を通して各園のシンボルツリーや園周辺の自然に触れ、変化を感じながら遊びが広がる環境づくりを工夫し行っています。

地域の皆さんに園での取り組みを知ってもらうために地域回覧をしています。その中でがるがるっ子の姿やおもしろエピソード等を掲載し、発信しています。

## エピソード『かたつむりのうんちは何色？』

クラスで飼っているかたつむりの世話をしたり、生き物にとっても興味のある子どもたち。『かたつむりのいろいろ色ウンチ』という絵本を読んだところ早速興味を示し、新聞紙やチョークなどを餌で与えると・・・予想外のうんちの色に驚いた。



チョークあるんだよ。  
カタツムリにあげてみる？

うん！ピンクと青がいいな。  
あと、ティッシュも置いてみよう。



## <チョークとティッシュを飼育ケースの中に入れてみる>

翌日、早速飼育ケースをもちだしうんちを探す子どもたち。

チョーク食べたか

まだ食べてない・・・

あ！人参色の  
“うんち”はあるね。

食べられないチョーク  
だったのかなあ？  
ティッシュも食べてない  
ね。



また明日見てみるか。何色のうんちが出るかな？

## 保育士のコメント

以前から飼育していたかたつむり。食べた物の色のうんちが出ることは知っていた。子どもたちだったが、絵本を見たことによって、チョークやティッシュを食べることを知り、すぐにやってみようと考え、行動につながった。

今まで関心がなかった子が興味をもち、他の子どもたちも一層興味や関心が広がった。

絵本や、図鑑などを提供していくことやタイミングの大切さを感じた。

子どもにとっても、大人にとっても、今までの経験や、身近な自然、生き物、そして、絵本や図鑑などが意欲を引き出すきっかけになったり、より深まるものとなっており、環境を作ることや整えること、さらに、その環境を継続し続けることの大切さを感じています。

**子ども達の遊びが充実し、感性や知恵や意欲が育つように、生涯に繋がる“生きる力”を育てていきます。**